



FC TOREROS

NEWSLETTER

NO.16
2012年2月号

発行時期
毎月1回(最終土曜日)

【エフシートレロス】
ニュースレター



(撮影)2012年1月22日 下高井戸運動場にてロスパス初の対外試合!

Monthly Report

●キックオフパーティー2012 in 吉祥寺

2012年のスタートとしてキックオフパーティー2012を開催しました。保護者の方々が主体となって開催したのですが、とにかく凄い一言!店の前には大々的な看板!!そして中に入るとこだわりの映像からレイアウト!!お父さん方のパワーに圧倒されました!パーティーでは、じゃんけん大会、チーム紹介、アマラオ監督からの国際電話のライブメッセージ?などなど、企画盛りだくさん!そしてパーティーの最後にはU15主将のシュンスケ君からの言葉。「日々の取り組みを大切にすることが一番」という言葉に参加した全員が共感。2012年度のスローガンにもなった『**結 束 2012**』にマッチする内容となったのではないのでしょうか。子ども達、保護者の方々がまさに結束した素晴らしい会となりました。今回のパーティーのような一体感を大切に、2012年シーズンをより充実した年となるよう頑張らしましょう!!



●栄養セミナー in ファンルーツ会議室

1/21にワイズアスリートサポートによる栄養セミナーをジュニアユース対象に開催しました。成長期を迎える選手たちにとって、食事はトレーニング同様に大切なもの。メモをとったり、質問をしたりと興味を持って話を聞いていました。今回のセミナーを今後の活動に活かしていただきたいと思います!!



●杉並区新人戦 / 3位

1/15に四宮小学校にて新人戦が行われました。予選を順当に勝ち上がり、準決勝でリベルタと対戦。序盤から試合を支配して先制。しかし、その後ゴールを奪うことができず、嫌な雰囲気は漂う中、終了間際、カウンターからの失点で同点…。そのままPK戦に突入してしまい、相手の勢もあり、試合に敗れてしまいました。試合に敗れてしまったのは悔しいものの、今後に向けて明るい要素も多く発見することができました。まずは、日々の活動を大切に、更なるステップアップを図っていただけるように頑張っていきたいと思います!!



News

●新スタッフの加入が決定!

2012年の新体制が決まりました。以下の通りになります。

- 【代 表】平野淳(エフエレンBC~FC東京~横浜F・マリノス~横浜FC)
- 【テクニカル】丸山浩司(三菱養和~FC東京~東京ヴェルディ) *U13監督兼任
- 【アドバイザー】アマラオ、山本晃昇(フィジカル/ワイズアスリートサポート所属)
今井愛(栄養/ワイズ所属)、服部幹彦(ドクター/明大前整形外科)
- 【U8監督】マルキーニョ(山形~アルビレックス新潟~川崎フロンターレ)
- 【U9監督】佐藤由将(横浜F・マリノスユース~国士館大学~松本山雅FC)
- 【U10監督】加賀見健介(FC東京~大分トリニータ~川崎フロンターレ)
- 【U12監督】綿貫一成(桜美林大学~横浜FC)
- 【U15監督】佐々木直人(東京ヴェルディ~國學院高校サッカー部)
- 【コ ー チ】森谷智之、西谷冬樹、内山修一、米山篤志、高橋翼、横山大悟
新井一史、赤堀大介(GKコーチ)、伊藤龍
- 【事務局】森田陽子、服部信一郎

Toreros Voice

スポーツの魅力とは、高い目標を達成した時の「やった~!」という感動や、失敗した時に「悔しい!」と感じる挫折感でしょう。それを幼少期に体感できることは、子ども達の長い人生の礎を築く上でも大切なことです。そして、サッカーの更なる魅力とは、個人だけでなく、チーム全員で力を合わせ、様々な苦難を乗り越えていくことです。今年のクラブスローガン『**結 束 2012**』。試合やトレーニングで同じウェアを身にまとい、お互いを支え合い、チーム一丸となって高い目標に挑む。技術的な上手い、下手という視点だけでなく、お互いの人間性を尊重し、人間的な温かみを持った雰囲気の中、互いに切磋琢磨して学び合い、意識を高め合える環境。それこそが結果的にサッカー力に磨きをかけていくことに繋がるものです。このような雰囲気を作るのは大人次第。大人が人の批判ばかりすれば、子どもは批判することを覚えるもの。敬意を払えば、敬うことを覚えるもの。トレロスはサッカークラブであり、ひとつの家族。他の子ども自分の子のように温かく接する姿勢が大切。そのような姿勢を皆が持てば、自然と温かいクラブとなるでしょう。大人が『子ども達を育てる、教える』などというのはおこがましく、『育つを手伝う』と表現するのも、まだおこがましい気がします。『育つのを邪魔しない』というくらいスタンスがちょうどいいのかもしれませんが。そんな温かく、ゆとりのあるスタンスを大人が持つことが最終的にクラブの結束力を生むのだと思います。